

千葉市議会議員

いわさき明子
市民のめ!



新聞

発行：
市民ネットワーク
ちばわかば事務所
043-284-2339
2016.11月

学校が地域の居場所に！

～ 四街道市視察より ～

高齢化が進み、子供が少なくなった地域の学校には「余裕教室(空き教室)」ができます。そのスペースを利用して、毎週月曜日に「コミュニティ喫茶・櫛(けやき)」を開設している、四街道市立八木原小学校に行ってきました。(食事する人達でにぎわう、元教室→)



1997年から、お年寄りも子どもも、体の不自由な方も、子育て中のお母さんも、誰でも来られる憩いの場所として開設され、うどんやちらし寿司が300円。他におしるこなどのデザートもあります。さらに、食後には手品ショーなどのお楽しみも。当日は、地域の人たちが開店前から行列を作っていました。

調理や配膳を担当するのは、NPO法人たすけあいの会ふきのとう・ボランティアの人たち。それぞれの得意分野を生かして、お菓子を手作りしたり、送迎の車を運転したりもしているそうです。

「ひとりでぼつんとご飯を食べるより、ここへ出かけてきませんか」というパンフレットの言葉どおり、「孤食」という問題解決に一役買っている、人の温かみを感じられる素敵な場所でした。

学校という場所を地域交流の核として活用する取り組みを、千葉市でも検討するべきと感じました。(岩崎明子)